

KALS 大学院入試対策講座 受講生の皆様

100%合格へ向けて！専属チューターからメッセージ

理系チュートリアル通信

2010年度 Vol.4



河合塾 KALS 大学院入試対策講座では、チューター制度を導入しています。授業での合格指導のみならず、受講生向け学習ガイダンスや個別相談などを通じて、受講生からの進路・志望先に関すること、入試に向けての学習法、合格に向けてきめ細かくアドバイスをしています。以下は、理系チューターから受講生の皆さんへのメッセージです。今後の受験対策のご参考にしてください。

☆志望理由書と研究計画書の作成☆

こんにちは。理系チューターの正野(まさの)です。いよいよ理系大学院の出願が迫ってきましたね。受験生の皆さん、志望する大学院・研究室の“志望理由書”や“研究計画書”などの作成は進んでいますか？「ん…そんなものうとくに終わっているよ」という人もいれば、「現時点の書類じゃ不安だ」「うまく書けない…」「これからやんなきゃやばい」という人もいます。そこで、今回のチュートリアル通信では志望理由書(志望動機)や研究計画書について簡単にアドバイスをしていきます。前者の受験生も後者の受験生も参考程度に読んでみてください。また、KALSの講座を受けられている方は「学習進歩管理シート」を参考にすることをお勧めします。筆記試験対策や卒研を両立しながら出願書類を作るのは大変だと思いますが、自分の納得のいく出願書類を作成していきましょう！

○ 志望理由書

理系大学院への志望動機で見られるポイントは、主に「**正当な志望動機**」「**熱意**」「**論理的思考力**」の3つです。1つ目の正当な志望動機とは、「なぜ本専攻への進学を希望するか」という理由がちゃんとあるか、ということです。「～の研究がしたい！」「～のことに興味があり学んでみたい」などの理由を突き詰めて書くことができればかなり評価は高いと思います。逆にこの理由がはっきりしていないと、本当に入りたいのか？入ってからやっていけるのか？と思われるかもしれません。2つ目の熱意はまさにそこを見えています。研究はゴールが見えないことや答えのない問題に取り組まなくてはならないので、自主性や継続力が必要になります。そして、その源となるのが研究や学問に対する熱意です。指導教員になる先生はできるだけ熱意のある学生を探りたいと考えています。3つ目の論理的思考力も重要です。研究を進めたり、論文を読み書きすることは論理的に考えなくてはなりません。そのため、志望理由書全体を論理的に書くということもかなり高いポイントになります。

ここで以上3つのポイントを兼ね揃えた志望理由書を作成するために次の項目を参考にしてみてください。

● 志望理由ネタのまとめ

1. 何で大学院に進学したいの？
e.g.) ～の研究がしたい、～に興味があり学びたい、将来は～な仕事・研究がしたい
2. 1に対して何でそう思ったの？興味を持ったきっかけは？
e.g.) 卒研や現在所属する学科との関連性が深いから
今までの経験・出来事・人との出会いから
3. 2に対して興味を持った具体的なエピソードは？どういう考えでその興味にたどりついたか？(できるだけ詳しく洗い出してみる)
e.g.) ～を学んできて…、現在～の研究に取り組んでいて…
～を経験して、～の出来事から、～の本を読んでみて、～のことから…の分野に魅力を感じる
4. 現在の研究テーマは何か？学んできた分野はなにか？志望先との関連性は？
5. 志望先に入れたらどんなことしたい？どんな研究してみたい？(仮説でもよいのでできるだけ具体的に書いてみる。漠然としていると後で詰まってしまう)

以上の5つは考えておくと志望理由をまとめやすくなります。また、ネタを洗い出すために、1つのことに対してなぜ？を5回考えてみたり、Mind mapの活用などをお勧めします。まずは自分の考えを整理し、抽象的な考えを

具体的に考えていきましょう。

● 志望理由書の構成

1. なぜ志望するか ⇒ 簡潔に一言で！
2. それに対する具体的な考え、エピソード ⇒ 詳しく書くと相手にはっきり熱意が伝わる！文字制限によっては簡潔に！文字数が多い場合は2つや3つの理由を書いてみてもいいかも…
3. 2を踏まえた上で入ってからやってみたいことは何か？⇒具体的な研究案(新規性、メリット、実験方法など)があれば評価が高い！研究案が漠然としているならば～の授業から～を学んでいきたい、でも良い。
4. やってみたい研究や学んでみたいことをどう生かしていきたいか、または将来どのように貢献していきたいか ⇒ 熱意、志をアピール

以上が志望理由の構成例です。文字制限によってまとめ方が異なりますが、1文1文を簡潔に相手にわかりやすい文章にすることがポイントです。一通り作成したら必ずチューターや先生、先輩、友達に志望理由書の添削をしてもらいましょう。他の人に見てもらえば見てもらっただけ、誤字脱字やうまく伝わらない表現がなくなり、完成度の高い志望理由書ができます！また、研究室訪問の際に知り合った志望先の学生に見てもらおうと志望理由や研究案がより深まると思います。

○ 研究計画書

選考基準としてもう一つの重要な資料として研究計画書があります。理系大学院では研究計画書の提出がない所も多いのですが、ある大学院ではやはり重要視されると思います。ここでのポイントは志望理由書と同じく論理的に書くことに加えて、研究を進める構成が自分で考えられるかを見られます。以下を参考として挙げておきます。

1. 研究背景

自分がやろうとする研究分野は過去にどんなこと(研究など)をされてきたか、この研究分野を進めるによって今までどんなメリットがあったか、これからどんなメリットがあるか。(現在の卒研と関連がある場合、詳しく書いちゃいましょう)

2. 研究目的、仮説

自分のやりたい研究分野には現在どんな問題があるか、どんな仮説がたてられるか。これを踏まえて、研究目的を設定し、自分の研究で何を明らかにしたいか、何を出来るようにしたいかをはっきりさせる。

3. 実験方法

2の目的からどんな実験をしようと考えているか、何を使い、どういう評価・解析をするか詳しく書く。

4. 結果、考察、結論、今後の展望など

3の実験方法でどのような結果を予測することができるか？その結果に対する考察を、間違いを恐れず書いてみる。

5. 参考文献

1～5に関して、引用した参考文献を載せておく。また、どの文章で引用したかもその文章の最後に番号をふつておく。

研究計画書は、調査⇒仮説⇒調査(仮説検証)のように調査したり、考察したりすることが重要です。より具体的なものを書くために、志望する研究室の方や現在の指導教員、助教授の方、先輩、またはチューターに添削を依頼してみましょう。

あとがき

今回のチュートリアル通信では、志望理由書と研究計画書の作成についてのアドバイスを載せておきました。あくまで一例として参考にしてみてください。入試まで残すところあと少し、皆さん、くれぐれも体調を崩さないように頑張ってください！それでは、次回のチュートリアル通信でお会いしましょう。

理系チューター 正野 大輔

KALS ではチューター・スタッフが個別相談も行います。各校舎までお問い合わせ下さい。

Copyright Kawai-juku 2010, Printed in Japan 無断転載複写禁止